

人権ユニバーサル事業

令和4年度法務省人権啓発活動地方委託事業

多様な性と人権を 考えるつどい

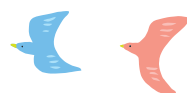
日時

令和
5年

2月11日

土・祝

13:30～15:15 (開場 13:00)



会場

サンラポーむらくも 瑞雲の間

松江市殿町369

演題

『その子らしさの種を育む』
～信じて見守り、ともにいる～

定員 140名
(先着順)
入場無料

- 手話通訳あります。
- オンライン(ZOOM)配信します。 オンライン参加定員 / 90名(先着順)
※電子申請により申し込みください。申し込みいただいたメールアドレスにミーティングID・パスコード等をお送りいたします。



講師

とうやま あつき
当山 敦己 さん



講師

こう はた きくろ
高畑 桜 さん

【講師プロフィール】

1991年、沖縄県にて3姉妹の長女として生まれる。小学校高学年頃から自身の身体に対する違和感を持ち始め、21歳の時に「性同一性障害」と診断を受ける。25歳の時にタイにて性別適合手術を受け、戸籍上の性別を女性から男性に変更する。その後、広島県に拠点を移し講演会や当事者サポートなどの活動をスタート。2018年さーちゃんと共に『ここいろ hirosshima』を立ち上げ、居場所づくりや啓発活動を行っている。

ここいろ hirosshimaは、「こころもからだもいろいろ、彩り豊かでええじゃん!」をモットーに、自分の体や心の性に悩む子どもたちとその保護者のサポートを行っている団体です。運営者のあっきー(当山敦己)とさーちゃん(高畑桜)はともにセクシュアルマイノリティ当事者であり、子どもたちの居場所づくりを中心に、講演会や出張授業などの啓発活動にも力をいれて活動しています。今回は2人のライフストーリーを通じて、「自分らしさ」や「自分らしく生きる」ということについて話をさせていただきます。

【講師プロフィール】

1992年生まれ。広島県出身。幼少期から自分の性のあり方について悩んできた。セクシャルリティはXジェンダー・女性愛者。広島県内の大学卒業後、小学校教員になるが、人との違いや学校現場への違和感に悩み、退職する。退職期間中に、両親との和解やあっきーと出逢いを経て『ここいろ hirosshima』を立ち上げ、教員を退職。現在はここいろの活動のほかに神石高原町豊松地区で子育て支援コーディネーターや「火」を用いたファイヤリトリートを行っている。



申込方法



以下のいずれかにより申込みください。

多様な性と人権を考えるつどい



● 電子申請

「しまね電子申請サービス」により申し込みください。

https://s-kantan.jp/pref-shimane-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=12994

● FAX

参加申込書へ必要事項を記入の上、

人権啓発推進センターまで送付してください。

FAX 0852-22-9674



申込締切
令和5年1月27日(金)

※新型コロナウイルス感染状況により、オンライン参加のみとさせていただく場合がありますので、予めご了承ください。

※当日体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。会場の換気、マスクの着用など新型コロナウイルス感染拡大防止にご理解、ご協力をお願いします。

参加申込書

氏名	お住まいの市町村	連絡先（日中連絡可能な電話番号を記載してください）
		TEL
		TEL
		TEL
		TEL
		TEL

※お預かりした個人情報は、本講演会の目的以外に使用することはありません。ただし会場において新型コロナウイルス感染症発症の疑いが生じた場合、お預かりした個人情報を保健所等の公的機関に提供する場合があります。

※駐車場には限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。